

## 地域密着型サービス 運営推進会議 報告書

施設名：小規模多機能ホーム きいちご倶楽部

施設種類：グループホーム ・ 小規模多機能型居宅介護施設（該当に○）

日時：平成28年8月17日 15時～16時

会場：きいちご倶楽部 宿泊者用居間

出席者  
（人数）

利用者代表	0人	有識者	2人
利用者家族	1人	高齢者あんしん 支援センター職員	1人
地域住民の代表	1人	出雲市職員	1人
その他（法人理事長、管理者、介護主任）			3人

（議題）

1. 利用の現状
2. 委員からの質問、意見
3. その他

（報告事項）

1. ご利用の状況

4月以降、延べ7人のご利用登録があるが、うちおふたりはグループホーム、老人保健施設への入所により解約されている。またおひとりは入院中で退院後は施設への入所を希望されている。このため現在実質のご利用登録は4人である。

7月以降のご利用の変化として、訪問の回数が増えている。これは7月からご利用の方が毎日訪問を行っているためである。

2. 6、7月の主な活動、行事

8月に発行した「きいちご便り」2号に沿って、七夕、お誕生日、ひかり保育園との交流など月の行事や活動をご報告した。

3. 各ご利用者のケア、課題の要点

4人のご利用者について、ご利用の様子、ケアする上で努めている点などをご報告した。

（会議の内容…評価、要望、意見、助言等）

・登録利用者が現在4人となっていることから、ご利用が増えるように努力してゆくことが必要である。そのために必要な方法について下記のご意見をいただいた。

・地域の居宅介護支援事業所を訪問してケアマネージャーに「きいちご」について知っていただく活動が不十分である。管理者（ケアマネ）がそのことに力をそそぐこと必要である。

・地域の一般の方やケアマネに対して「きいちご」のPRのため、介護保険や小規模多機能ホーム、「きいちご」の特色などをわかりやすく説明した資料を作成すべきである。

・「きいちご」について地域の一般の方に知っていただくために、当初予定されていたように、そうした方々も参加できる公開の活動を企画して実施する。

・委員もできることは協力する。

（文責 山崎賢二）